

# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
	久谷地区

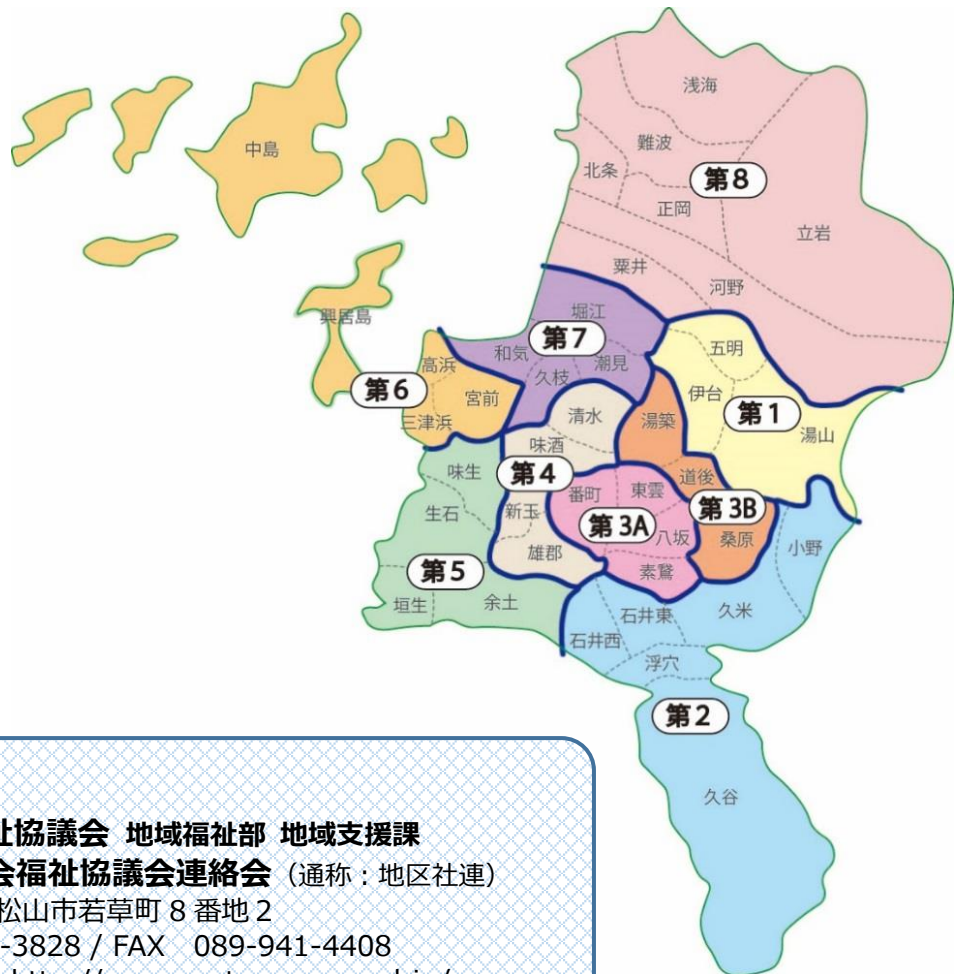
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3 A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3 B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地区
	生石地区
	味生地区



**発行日** 平成31年3月

**発行** 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
 松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称：地区社連)  
 〒790-0808 松山市若草町8番地2  
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
 Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

**作成** 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

# <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

### ごままる 五明地区

面積：17.04 km<sup>2</sup>  
人口：493 人（高齢化率 47.5%）  
世帯数：259 世帯

**①地区の概要**

五明小学校児童による伊予万歳

### 五明地区社会福祉協議会

人が好き 自然が好き 五明が大好き

構成団体	地区民協・区長会・まちづくり協議会
主な取り組み	活動内容
シクラメン配布	毎年12月に五明苑の入居者と在宅の75歳以上高齢高齢者を訪問し、シクラメンをプレゼントしています。
五明小マラソン大会	毎年2月に開催されるマラソン大会に様々な団体が参加協力し、見守り活動を行っています。
夏休み大清掃	夏休み期間中に五明苑を訪問し、清掃活動を行うことができます。通学路および五明苑の周辺を清掃しています。

**③地区社協の概要と取り組み**

お米作  
福祉学習事業の一環として、公民館、PTA、民生委員・児童委員と連携し、田植えから稲刈り、もちつき、しめ縄作りまでの各種農作業を通して児童の教育と地域の幼稚園児から高齢者までの交流を支援しています。

**④地区内関係団体データ**

地区民協	民生委員	町内会・自治会・区長会等	高齢クラブ
1団体	10団体	6団体	0クラブ
まち協の設立	平成23年度	自主防災組織	0団体
0	0	5組織	0

**⑤地域福祉推進のポイント**

五明地区の活動の拠り所は、「地域を核とした互助」と「地区の文化や伝統の継承をとおした世代を超えたつながり」です。山間部ということで人口が少なく、交通の不便はありますが、高齢になってくると、地域で暮らすことが難しくなってくる。あう中で助け合いが実現している。地域で暮らすことが難しくなると、地域での伝統行事等の多くが伝承され、お互いが顔のわかる関係ができています。地域おこし協力隊やまちづくり協議会などの広域活動により、地域に新しい人材やエネルギーを発信していることも魅力的です。人生を楽しみながら安心して住み続けられる地域へと着実に歩みを進めている地区だといえるでしょう。

**②地域住民からみた地域の状況**

**地区の強み**

- 顔見知りが多く、どこの誰かが把握できる
- 個人でゴミ捨てや買い物物の助け合いをしている
- 移動スーパードが来る
- 車での通勤、通学時間は距離も少なく20分~30分で市内中心部へ行ける
- 自然が豊かで季節を感じることが出来る
- 食べ物（タケノコ、ブドウなど）がおいしい
- 自主防災と連携し災害時の避難の仕組みを作っている
- 地域おこし協力隊がホームページ等で地域の広報活動をしている

**地区の弱み**

- 高齢世帯や高齢世帯が増えた
- 子どもも少なくなった
- 若い人が町外に出てしまつた
- 交通の便が悪く、通学が難しい
- 利用者数減によるバスやタクシーの減便
- イノシシ、シカ、サルによる作物被害

**福祉課題**

- 高齢化と少子化（児童減少で小学校の存続が心配）
- 交通の便が悪い
- 免許返却を返納すると外出が困難
- 金融機関が遠い
- 店が少ない
- 坂道が多い
- 空き家、空き地も多くそうじが行き届いていない
- 活用出来ていない、危険
- 災害時の危険箇所が多い
- 高齢者の地域への役割が多い
- 高齢者の不足
- 在宅で生活し続けることが難しい

## ①地区の概要

- 面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- 地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

## ②地域住民からみた地域の状況

- 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

## ③地区社協の概要と取り組み

- 平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

## ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査（基準日：平成30年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（平成30年4月1日現在）
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（平成30年4月1日現在）

## ⑤地域福祉推進のポイント

- 聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者のみなさまからの地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏